

ベトナム家計調査データの視覚化

久保田 貴文（多摩大学）

1. はじめに

本研究の背景としては、統計数理研究所共同利用「アジア諸国世帯統計マイクロデータの二次利用推進に関する研究」によってデータベースが利用可能になったことで、アジアにおけるメンタルヘルスに関連する要因を探ることから始めた。特に、ベトナムにおける生活水準の調査により男女格差をデータにより視覚化することを目的とする。ベトナムを取り上げた理由は、日本と同様に男女の自殺率の格差があるためである。本報告では、shinydashboard を用いて性別、地域（プロビンス）ごとに集計されたデータを数値・一覧表・コロプレスマップで視覚化した。

2. データについて

本研究では、ベトナムの生活水準調査の匿名標本データである Resampled Micro Data of Vietnamese Household Living Standard Survey (VHLSS) の 2006 年の調査結果、VHLSS2006 を用いて解析を行った。

3. shinydashboard について

shinydashboard は R のパッケージの Shiny を用いたダッシュボードの作成支援のためのパッケージである。本研究で使用する家計調査の高次元のデータからデータ駆動型の意思決定をする場合に、ダッシュボードを用いるのは非常に有益であり、解析者にとってはその視覚化を容易にできるため本パッケージを利用した。R のプログラムの一部であるため、視覚化から解析への橋渡しも容易に行うことが可能である。

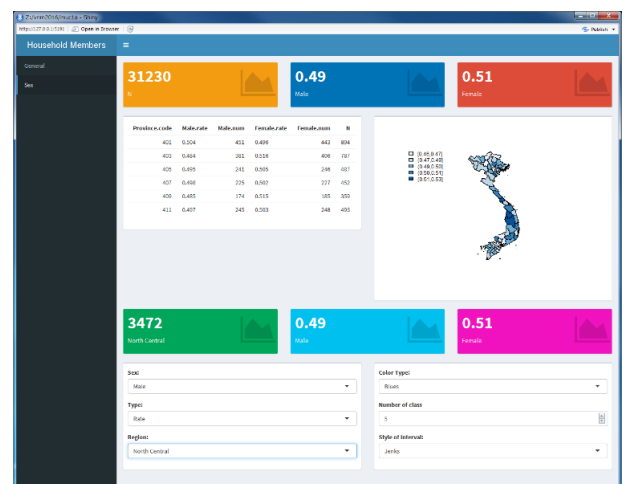


図1は、データの中でも、性別（sex）を総数と割合、プロビンスごとの集計された値およびコロプレスマップで視覚化し描画したアプリの画面である。

4. まとめと今後の展望

本報告では shinydashboard を用いた視覚化を紹介した。今後の展望としては、プロビンスごとのデータに集計し、隣接情報を加え、空間自己回帰モデルにより、労働状況を性別や年齢や家族の関係さらに教育状況や医療状況から推定し、因果関係を検討する予定である。

謝辞

本研究は統計数理研究所共同利用「アジア諸国世帯統計マイクロデータの二次利用推進に関する研究」（29-共研-2048）の一部である。